

**東北地方太平洋沖地震を踏まえた  
原子力発電所の安全確保に向けた電力総連の当面の対応について**

平成23年3月31日  
全国電力関連産業労働組合総連合

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により、尊いお命を亡くされた方々に深く哀悼の意を表しますとともに、被災された方々やご家族の皆さまに心からお見舞い申し上げます。また、未だ行方不明となっている方々のご無事が一刻も早く確認されることを心よりお祈り申し上げます。

このたびの震災による福島第一原子力発電所における事故ならびに放射性物質の放出等により、発電所の周辺地域の皆さまをはじめ、国民の皆さまに多大なご心配とご迷惑をおかけいたしておりますこと、また、電力設備が甚大な被害を受けたことにより、やむを得ず計画的な停電や節電へのご理解ご協力をお願いせざるを得ない状況となっておりますことについて、国民の皆さまに深くお詫び申し上げます。

福島第一原子力発電所につきましては、現在、政府ならびに関係府省庁、自治体、メーカーの皆さま方など関係各位のご支援とご協力を頂戴しながら、事態の悪化防止と収束に向け、現地作業従事者はもとより組織の総力を挙げて全力で取り組んでいるところです。また、国民の皆さまに一日も早く安定的に電気をお届けできるよう、復旧作業に懸命に取り組むとともに、設備の運用・保全に万全を期しつつ、連系設備の活用等を含め供給力の確保に最大限努めているところです。

電力関連産業に働く者といたしましては、これまでから、原子力発電所の安全確保に向け、真摯に取り組んでまいったところであり、過去例を見ない未曾有の震災によるものとはいえ、今般のような事態となったことは極めて残念でなりません。

私ども電力総連は、戦後最大の非常事態である現下の情勢、特に、原子力発電を巡るこのたびの事態を極めて重く受け止めた上で、まずは、福島第一原子力発電所の冷温停止に向け、作業安全を確保しながら、引き続き全力で取り組んでまいるとともに、現在、全国各地で運転中の他の原子力発電所につきましても以下のとおり取り組み、国民の皆さまの安全・安心に万全を期してまいります。

- 原子力発電所における全ての作業従事者の被ばく線量管理、健康管理やメンタルケア、作業従事前の放射線教育や作業環境に関する情報共有等に、より一層万全を期すこと。
- 今般の事故から現時点で得られている知見や情報の共有を図った上で、非常用炉心冷却系統や非常用ディーゼル発電機、使用済み燃料プールの冷却系統など安全確保上重要な機器・設備の健全性を早急に点検・確認するとともに、原子力防災対策の強化など必要な対応を図ること。
- 地震・津波により、電源機能や海水冷却機能、使用済み燃料プールの冷却機能が全て喪失された場合においても、炉心損傷等を防止し、放射性物質の放出を抑制するため、以下のような安全対策を講じ、原子力発電所の安全確保機能の多重性を拡充・強化すること。また、今後新たな知見等が得られた場合には、速やかに必要な追加対策を講じること。
  - ・ 電源が全て喪失した場合に備えた代替電源の確保や海水系ポンプ予備モーター等の確保、非常用発電機車の配備体制の強化、使用済み燃料プール冷却機能の強化
  - ・ 防護壁の設置など津波対策の強化
  - ・ 全ての電源喪失等の過酷事故を想定したアクシデントマネジメント機能の強化
- 原子力発電に関する情報公開を更に徹底するとともに、事故・トラブル時における広報のあり方について、国民の皆さまが理解しやすく分かり易いものに見直しを図ること。

また、食品摂取を含めた日常生活と放射線との関わりや健康影響等について、客観的で分かり易い情報発信にこれまで以上に取り組み、国民の皆さまの安心の確保に万全を期すこと。

以上